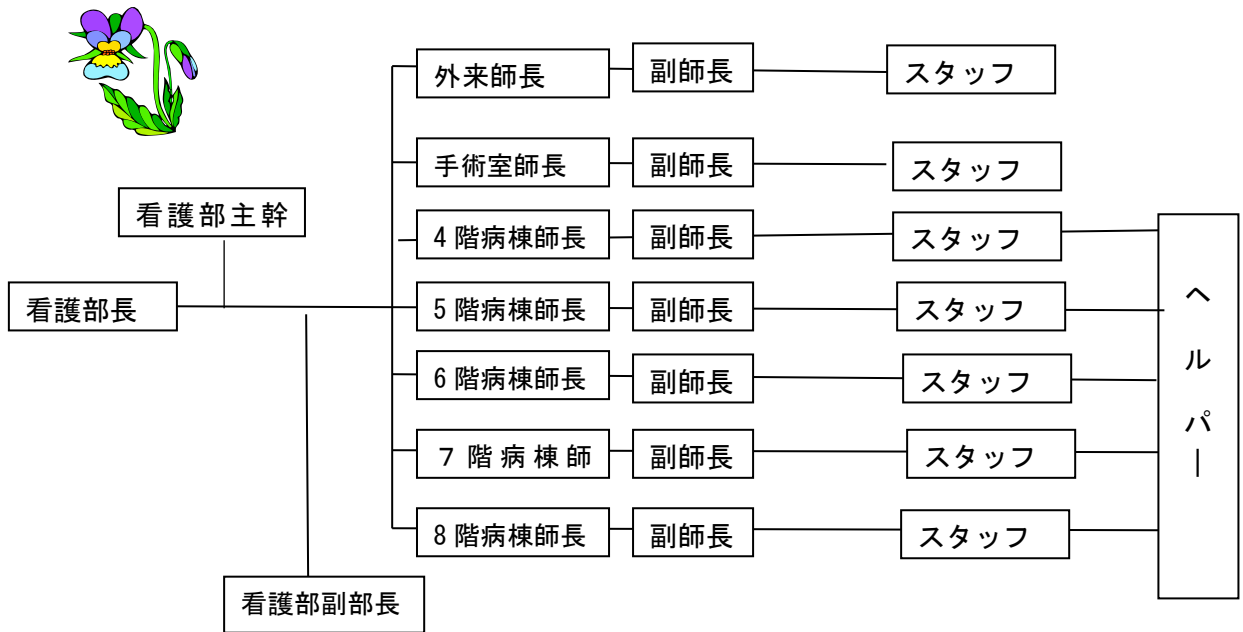


看護部の組織図



委員会名	目的
師長会・副師長会	大阪市立十三市民病院における看護の充実を目指し、看護管理者としての能力の向上と社会的地位の向上を図り、会員相互の親睦を深めることを目的とする
人材育成委員会	病院の基本理念、看護部の基本理念を理解し、組織人・専門職業人としての責任を果たす能力を養う
臨地実習指導者会	実習指導者としての役割を認識し、看護学生の学習活動を支援する
看護手順委員会 看護必要度委員会	均質化された質の高い看護を提供するために、看護手順を作成し推進する。看護職全員が必要度を正確に理解し、日々の看護必要度を正確に評価できるようにする
看護記録委員会	看護記録の検討・実施・評価を通して看護の質の向上を目指す
クリニカルパス委員会	標準化された看護を提供するためにパスを作成し、チームの推進を図ることを目的とする
医療安全推進委員会	医療・看護上の事故を未然に防ぐことを目指し、安全な看護の推進を図る
接遇委員会	看護職員のモラルの向上と看護サービスの充実を図る
感染対策実務委員会	院内感染対策を実効あるものとし、医療の質の向上を図ることを目的とする。
褥瘡対策チーム	褥瘡の発生を防止するとともに、褥瘡に対して専門的立場により指導、助言を行うことを目的とする。
栄養サポートチーム 嚥下・口腔ケアチーム	患者の栄養状態を改善し、口腔ケアの実施や誤嚥予防、栄養治療に対して専門的立場で指導・助言を行う。
RST チーム	人工呼吸器装着中の入院患者に適切な呼吸療法を提供し、安全安楽に過ごせるように、患者・家族・スタッフをサポートすることを目的とする
糖尿病ケアチーム	患者や患者家族を含めたチーム医療を実践し、健康な人と変わらない日常生活の質の維持、健康な人と変わらない寿命の確保を目指し、個々のライフスタイルに合わせた最善の治療・療養指導を提供する
緩和ケアチーム	がん患者の医療の質を高めると共に QOL の向上を図る
認知症ケアチーム	認知症患者と家族への入院初期から環境調整やコミュニケーションの方法について病棟看護師や他職種と検討し、身体的抑制や向精神薬の使用を出来るだけ少なくして、安心できる環境で適切な治療を受けることができるようにサポートすることを目的とする
栄養委員会	食事療法に関する必要な事項を検討し、食事の質の向上、関連部門との連携を目的とする
看護研究倫理審査会	看護職員による、人を対象とした看護研究が「ヘルシンキ宣言」「臨床研究における倫理指針（日本看護協会）」を考慮しながら、倫理的配慮の下に行われているかどうかを審査することを目的とする
災害対策チーム	平時から災害時対応が意識でき、災害時に自ら考えて動ける人材の育成と災害時看護体制の構築を目的とする

病棟の構成・診療科・病床数・看護体制（2020年4月～）

病棟		診療科	病床数	施設基準	定数	看護配置	夜間看護体制
4階病棟		産婦人科・小児科・その他女性共有	56	7対1	24	24	3
5階病棟		循環器科・呼吸器内科・消化器内科	56		32	32	4
6階病棟	一般	外科・泌尿器科・消化器内科・皮膚科・耳鼻科	51		32	32	4
	HCU	全科	5	5対1	8	8	1
7階病棟		糖尿病内科・整形外科・眼科・内科	56	7対1	24	24	3
8階病棟		結核	39	10対1	23	24	3
外来				30対1	29	30	
手術室					10	10	

病棟の構成・診療科・病床数・看護体制（2021年12月～：コロナ）

病棟		診療科	病床数	施設基準	定数	看護配置	夜間看護体制
4階病棟		産婦人科・小児科・消化器内科・整形外科・糖尿病内科	25	7対1	24	24	3
5階病棟		全科	56	7対1	24	29	3
6階病棟	一般	コロナ	20			34	基本は3名、 患者10名以上 で4名、患者 18名以上 で5名と調整
	HCU	閉鎖					
7階病棟		コロナ	20			34	
8階病棟		コロナ	30			22	
外来				30対1	29	30	
手術室					10	10	